

2026 年 7 月 28 日

各位

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
(東証プライム 167A)
リョーサン菱洋株式会社

リョーサン菱洋、プリケンへ CO2 排出量削減を支援 自動空調制御システムにより年間 43.8 トン^{*1}相当を削減

～製造業への知見を活かした GX 提案で電力削減と業務負荷削減を実現～

エレクトロニクス商社のリョーサン菱洋株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：稲葉 和彦、以下「リョーサン菱洋」）は、プリント基板の設計・製造を行う株式会社プリケン（本社：埼玉県ふじみ野市、代表取締役社長：田中 信也、以下「プリケン」）に、自動空調制御システム「Ai-Glies（アイグリーズ）」（以下「本製品」）を導入しました。

これにより、プリケンは製造現場で生じていた余剰空調電力に起因する年間 43.8 トン^{*1}相当の CO2 排出量削減を実現しました。また、電力ピーク時に担当者が電話や社内放送で行っていた空調管理のアナログな運用を自動化し、DX による業務効率化も同時に実現しました。



■ 導入の背景

プリケンでは新設備導入に伴う電力コストの高騰が課題となり担当者が社内放送で節電を呼びかけるなど、大きな業務負担となっていました。製造業では、製品品質の維持や従業員の就労環境管理の

^{*1} 2024 年 9 月～2025 年 8 月を対象に、削減電力量測定のため 30 分ごとに約 3 分間空調制御を送風運転に切り替えて計測した本製品停止時の消費電力量と、本製品稼働時の消費電力量との差分から削減電力量を算出し、これに東京電力エナジーパートナー株式会社が公表する CO2 排出係数(各年度の最新公表値)を乗じて CO2 削減量を算出しています。

ために十分な空調が不可欠である一方、電力価格の上昇により空調コストが経営課題となるケースが増えています。リョーサン菱洋はこうしたニーズに応えるため、2023 年より GX 推進サービス提供を開始し、本件では快適な室内環境を維持しながら空調を自動管理できる本製品を提案し、採用に至りました。

また、精密機器を扱うプリント基板製造工程では温度変化が製品品質に影響するため、空調制御システムの導入は慎重に進める必要があります。導入前に試験運用を行った結果、従業員の体感温度や就労環境への影響がないうえに、温度変化が製品品質に影響しないことが確認できたため、執務室と工場を含めてプリケン全社での設置に至りました。

■ 本導入による 3 つの成果

1. 環境負荷の低減：電気使用量削減により CO2 排出量を年間 43.8 トン*1 相当削減
2. 現場の業務負荷削減：属人的な「節電呼びかけ」を解消し、管理業務を自動化
3. コスト削減：年間約 190 万円*2 の電気料金削減を実現

■ 本製品について

本製品は、株式会社アイグリーズによる空調制御に特化した節電・省エネシステムです。既存の設備に後から導入でき、施設の室外機に設置した屋外センサーによって外気の温度・湿度をリアルタイムに計測します。取得したデータをもとに、独自開発のアルゴリズムが空調を最適に制御し、快適な室内環境を維持しながら高効率な節電運転を実現します。また、ダッシュボードを通じて、本製品の導入によって削減された消費電力量および CO2 排出量を可視化できます。

■ 株式会社プリケン 代表取締役社長 田中 信也氏のコメント

本製品の導入にあたっては、リョーサン菱洋のサポートのもと試験運用を実施し、効果を十分に検証した上で判断を行うことができました。豊富な製造現場の知見に基づき、当社の状況や市場動向を踏まえた多角的な提案をいただける点を心強く感じています。リョーサン菱洋とは、プリケンが強みとする基板と、同社が取り扱う半導体・電子部品を組み合わせることで提案の付加価値を高める狙いから、2022 年に資本提携を行いました。今後も自社の効率化支援や人材交流を通じて、両社の強みを活かしてさらなる成長につなげていきたいと考えています。

リョーサン菱洋は、プリケンに取材を行い、現場で起きている変化や導入時の裏側に迫った事例レポートを公開しました。

▶ [【導入事例記事】製造現場に踏み込む DX 支援で年間電気料金約 190 万円・CO2 排出量約 43.8 トン](#)

*2 2024 年 9 月～2025 年 8 月を対象に、削減電力量測定のため 30 分ごとに約 3 分間空調制御を送風運転に切り替えて計測した本製品停止時の消費電力量と、本製品稼働時の消費電力量との差分から削減電力量を算出し、これに 1kWh 当たりの電気料金単価を乗じて算出しています。なお、本製品の利用料金は別途発生します。

ンの削減を実現

■ 今後の展望

リョーサン菱洋は、本製品をはじめとする GX・DX 提案を通じて、製造業におけるエネルギー調達の最適化やカーボンニュートラル対応を引き続き推進します。業種を問わず、優れた技術を持つ企業の現場に深く入り込み、課題の可視化から解決、以降のメンテナンスを一貫して支援し、日本の製造業の競争力強化と活性化に貢献してまいります。

■ プリケンについて

プリケンは、「プロトタイプ KIBAN を進取果敢に多彩な技術力を駆使して最適リードタイムで提供し社会を一步先の未来へつなぐ」をパーパスとしてプリント配線基板の設計・製造・部品実装・部品調達・メタルマスク製作を行っています。“工場”ではなく、“研究所”であるという創業の思いを胸に、お客様の製品企画段階から多種多様なニーズに応えるプリント基板を製造し、開発をサポートしています。

▶ [プリケン Web サイト](#)

■ リョーサン菱洋について

リョーサン菱洋は、半導体、AI、IT、産業 DX などの領域で、単なる製品の販売にとどまらず、お客様の事業成長のための支援を提供するエレクトロニクス商社です。2026 年 4 月 1 日に、リョーサンと菱洋エレクトロの統合により、両社の強みを結集し、新たなスタートを切りました。

『お客様のニーズにお応えし 社会に必要とされる企業になる』をビジョンに掲げ、目の前のお客様はもちろん、その先にいるエンドユーザー様までを「お客様」と捉えています。リョーサン菱洋は、お客様の課題解決を通じて、IT 産業のさらなる発展に寄与し、社会への貢献を目指します。

社 名：リョーサン菱洋株式会社
代 表：代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
事業内容：半導体や電子部品の販売および製造
ICT 機器や付随するシステムの販売、製造および構築
設 立 日：1953 年 11 月
資 本 金：17,690 百万円
所 在 地：東京都千代田区東神田二丁目 3 番 5 号
U R L：▶ [リョーサン菱洋オフィシャルサイト](#)



本件に関するお問い合わせ

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 企画本部 広報部
TEL：03-3546-6331 Mail：pr@rr-hds.co.jp